

日本の音楽-西暦2002年（平成十四年八月）

1. ドレッシェン 道子

今年の夏、日本のミュージックショップで目に留まったCDに、「フィーリング」というのがあった。ビートのはげしい若者向けの音楽が多い中で、これは少し違っていた。「癒し系：ヒーリング」という音楽ジャンルに属していた。我々の心を癒して、ゆったりとした気分にしてくれる美しい音楽が集められていた。しかし、ただゆったりとして、美しいというだけだろうか。ちょっと、聴いて、考えてみたい。

まず、日本のテレビ番組のテーマ曲として書き下ろされたものをいくつか紹介しよう。アディエマスの「世紀を越えて」は、NHKテレビスペシャル「世紀を越えて」のテーマ曲のために書き下ろされた曲で、美しいコーラスとオーケストレーションが見事に融和して、いかにもテーマに合ったすばらしい作品である。東儀秀樹の「箏箏」による「New Asia」は、NHKの番組「新アジア発見」のテーマソングに今でも使われている。「箏箏」は、日本の古典音楽、雅楽の楽器の一つである。東儀は、雅楽を学び、楽師となり、日本伝統文化の紹介をする反面、独自の曲の創作活動もしてきた。かれの「越天楽幻想曲」は、日本の古典

音楽の雅楽の曲、越天楽えてんらくを基礎きそにして作曲さつきょくされたもので、古いものふると

新しいものあたがうまく融和ゆうわしていて、とてもユニークである。

神戸こうべ生まれのピアニスト、ウオン・ウイン・ツァンうんめいの「運命と絆きずな」は、

NHKスペシャル「家族かぞくの肖像しょうぞう」テーマ曲。中国出身しゅっしんのフェイ・ウオン

「EYES ON ME」は、世界中せかいじゅうのコンピューターゲームファンを魅了みりょうした

ゲームソフト「ファイナルファンタジー」のCM曲に使われた。千住明せんじゅあきら

作曲の「世紀末せいきまつの詩うた」もテレビドラマのオープニング／テーマ曲だった。

2.

つぎ せかい
次に、世界のルーツ音楽を基礎にして作曲されたものを紹介しよう。

ひめかみ かみがみ
姫神の「神々の詩」、セイクリッド・スピリットの「せい だいち いの
聖なる大地の祈り」、

みんよう かし なお
ロシア民謡の歌詞をオリガが書き直して歌っている「ポーリュシカ・

ポーレ」などがある。

姫神の「神々の歌」は、日本のルーツ音楽を基礎にそのでんとう
伝統と新しさを

きょうぞん ひとつとく
共存させる独特のアレンジになっている。セイクリッド・スピリット

の「聖なる大地の祈り」は、ネイティヴ・アメリカンのうた おど
歌と踊りを基礎に

げんだい
現代のダンスビートなどのエッセンスを取り入れてあり、1995 年には

大ブームをま お
巻き起こした。東儀秀樹の「えてんらく げんそうきょく
越天楽幻想曲」は、このグルー

ぷにも入る。

もう一種類のグループは、日本以外のいがい くにぐに
国々からのミュージシャンが

作曲したきょく
曲である。アイルランド音楽をたくみに取り入れ、いろいろ
色々な

ほか ぶんか ゆうごう
他の文化と融合させて新しいサウンド・スタイルを作った、シークレッ

ト・ガーデンのいの
「祈り」。神戸生まれのこうべ う ほんこん
香港のピアニスト、ウオン・ウイン・

ツァンのうんめい きずな
「運命と絆」、サラ・ブライトマンとアンドレア・ボチェッリが

そうだい
壮大なスケールで歌う「タイム・トリ・セイ・グッバイ」。あたらしゅっぱつ
新しい出発

をするために古いことへ「さようなら」を言うという感じの歌詞だ。

それに、エリック・セラの「グラン・ブルー」などだ。

他に、今年の夏のヒットチャートにのっていた曲としては、常に
チャートに名前がのる宇多田ヒカルの「さくらドロップス」、元ちと
せの「ワダツミの木」などは、彼女たちの個性が歌にも歌い方にも表れ
ていて、面白い。小林和正の「キラキラ」や「my home town」などは、
聴いた後、とてもすがすがしい気持ちになって良い。だから、彼の曲
は、ホームドラマのテーマソングによく使われる。

鮫島有美子が歌う日本の歌、「この道」「ちいさい秋みつけた」「故郷」

「夕焼小焼」「夏の思い出」などは、もちろんいつ聴いてもすばらしい。

磨き上げた声と表現は、本物の癒しの音楽だなと私は感じた。

日本の音楽、2002年「癒し系の音楽」に、多民族文化尊重の音を聴
く。そして、それが新旧融和して、美しい音とリズムを作り上げている。
ここらで、何曲かお聴かせしましょう。

どうですか。あなたにも「癒し」の感覚が感じられますか。